



開講年度 Academic year	2025年度		
講義コード Course title (Japanese)	022001102		
講義名 Course title (Japanese)	社会学 A		
英文講義名 Course title (English)	Sociology A		
(副題) Course subtitle			
開講責任部署 Faculty			
講義開講時期 Semester(s)	前期	講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour(s)	2	時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	金曜日	時限 Period	5 時限
校地 Campus	大行寺キャンパス		

所属名称	ナンバリングコード
	C2-SOC101LJ

担当教員 Lecturer(s)			
職種（専任教員・非常勤教員） Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer(s)	実務経験の有無 Work experience	所属学部 Department
専任教員	◎ 新谷 由里子		発達科学科心理学専攻

授業の内容（主題） Course description	・社会学は、個人と社会の相互的な関係に視点を置き、複雑化する現代社会が抱えるさまざまな社会的問題や現象、また、人間の社会的生活について幅広く研究する学問です。人間が作る社会（集団）は時代とともに変遷することに加え、その形態も急速に変化していきます。 ・授業では、社会学の基本的考え方と基礎概念を分かりやすく説明し、それを踏まえて、家族、教育、社会階層、ライフコース論、労働、ジェンダー、少子高齢化、都市などの社会学のテーマを幅広く取り上げます。加えて、それぞれのテーマにアプローチする中で、社会学が獲得してきた成果(社
到達目標 Course objectives	・現象と社会の全体像を時間的・空間的な広がりの中で理解し、現代の社会事象や社会問題について社会学的な視点で考える力を養う。 ・実際に体験したり見聞したりする個々の事象や問題に対して、十分に客観的で合理的な解釈・評価ができるようになることが到達目標である。
ディプロマポリシーとの関連 Accordance with diploma policy	
◎：非常に強く関連する ○：強く関連する △：関連する 空欄：該当しない	

①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力	◎
②激変する国際社会の中にあって、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力	○
③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力	◎
④自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力	◎

授業計画表 Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	イントロダクション（社会学とは）	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第2回	社会学史①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第3回	社会学史②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第4回	社会学史③	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第5回	家族の社会学①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第6回	家族の社会学②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第7回	労働の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第8回	逸脱・犯罪・自殺の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第9回	教育の社会学①	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第10回	教育の社会学②	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第11回	文化の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第12回	少子高齢化の社会学	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第13回	日本の人口減少と社会	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第14回	現代の社会学理論	復習（30分）：講義で学んだことや疑問点等についてまとめる。
第15回	総括	

授業計画コメント Course outline

基本的にシラバスに沿った授業計画とするが、途中変更があった場合は授業内で説明、周知する

授業の進め方 Session plan

適宜、授業内容に沿った資料を配付し、講義形式（状況によっては、遠隔授業に変更の可能性有）で実施する。また、必要に応じて映像や画像を視聴する。

アクティブラーニング Active learning

授業で学んだ社会的事象を自分の関心に引き寄せて、新聞、ニュース、資料などより具体的に把握、考察、評価する。

授業時間外の学修（予習・復習等） Preparation and review outside classroom hours

授業内で学んだ知識や内容に関して、資料、論文、書籍等を通してさらに理解を進める。

教科書等 Textbooks and materials

	タイトル Title	著者名 Author (s)	出版社 Publisher	出版年 Year of Publication	価格 Price	ISBN
1						
2						
3						
4						
5						

（必ず購入すべきもの） Materials required for sessions

特になし。

参考図書 Reference book (s)

・『本当にわかる社会学』現代位相研究所編 2010
・河合雅司『未来の年表』講談社現代新書 2017/河合雅司『未来の年表2』講談社現代新書 2018

		・友枝 敏雄『社会学のエッセンス 新版補訂版― 世の中のしくみを見ぬく』 有斐閣アルマ, 2017/3/30 ・橋爪 大三郎『社会学講義』 (ちくま新書) 2016/9/6 ・竹内 洋『社会学の名著30』 (ちくま新書) 新書 – 2008/4/1		
成績評価方法および評価基準 Evaluation criteria				
	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	0%	0%	80%	20%
成績評価の方法に関する注意点 Assessment criteria		成績評価に変更がある場合、授業内で周知およびシラバスに再掲示する。 授業参加、平常点も重視します。		
科目のレベル、前提科目など Level / Prerequisites		授業では、社会学の基礎的理解を深めるとともに、専門的分野・トピックス含めた一般・包括的内容を展開する。		



✕ ウィンドウを閉じる